

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時総会議事録

日 時：平成25(2013)年3月16日(土) 14時15分～14時50分

場 所：タワーホール船堀

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1

T E L：(03) 3503-1481 (代表)

議決権のある社員総数：662名

総社員の議決権の数：662個

出席社員数(委任状による者を含む)：431名(内委任状出席 294名)

この議決権の総数：431個

出席理事：遠藤 一司 理事長、加藤 裕芳 副理事長、山本 弘史 副理事長、
川尻 尚子 副理事長、青柳 吉博 理事、大谷 俊裕 理事、大塚 昌孝 理事、
小川 千晶 理事、軍司 剛宏 理事、小井土 啓一 理事、
近藤 直樹 理事(議事録作成者)、櫻井 洋臣 理事、笹津 備尚 理事、
鈴木 賢一 理事、縄田 修一 理事、狭間 研至 理事、橋本 浩伸 理事、
堀越 建一 理事、牧野 好倫 理事、松井 礼子 理事、山口 健太郎 理事、
米村 雅人 理事、和田 敦 理事

出席監事：和泉 啓司郎 監事、高山 康信 監事

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の定時総会に先立ち、一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会の定款第17条の定足数を満たしており、本総会は成立している旨の報告が総務委員長である近藤直樹よりなされた。

・第1号議案：開会、議長・副議長の選出等

本総会における議長・副議長の選出を行い、議長に山本弘史副理事長、副議長に牧野好倫理事が選出された。

また、第2号議案に先立ち山本弘史議長より、先般、正会員あてに送付された総会の開催通知にあった議題の「役員追加選任の件について」は、先週末の本学会総務委員会からの会員あてメールでも案内したとおり、取り下げられている旨の報告がなされた。本件に対する異議はなかったことから、配布資料中の議事次第に従い、進行することが了承された。

・ 第2号議案：事業報告及び決算の承認

平成24年度事業報告、収支報告書（平成24年3月1日～同年12月31日）、貸借対照表（平成24年12月31日現在）、損益計算書（平成24年3月1日～同年12月31日）、販売費及び一般管理費内訳書（平成24年3月1日～同年12月31日）、財産目録（平成24年12月31日現在）、会費収入の内訳が配布資料に従い、加藤裕芳副理事長により報告がなされた。その後、和泉啓司郎監事より、法令に従い、平成24年度の会計監査を行い、全て適法、かつ的確に執行されていることを確認した旨、配布資料に基づき報告がなされ、承認された。

・ 第3号議案：事業計画及び収支予算の報告

平成25年度の事業計画及び収支予算について、加藤裕芳副理事長により、配布資料に基づき説明がなされ、了解された。

・ 第4号議案：認定制度の創設

日本臨床腫瘍薬学会では、外来がん治療を安全に施行するために薬剤師が担うべき役割を理解し、その知識を習得した薬剤師の養成すること、地域がん医療における保険薬局の役割を理解し、患者とその家族をトータルサポートできる薬剤師の養成を行うことを趣意として、外来がん治療認定薬剤師（Accredited Pharmacist of Ambulatory Cancer Chemotherapy (APACC)）制度を創設した。本制度は、がん医療の進化に伴い、外来における抗がん剤治療において、在宅で治療を受ける患者に対し、薬剤師の専門性を生かしたより良質の医療を提供するという社会的要請に応えるため、薬物療法に対する知識・技術や患者サポート能力を備えた薬剤師を養成し、国民の保健・医療・福祉に貢献することを目的としている。そして10年後（2024年）には、病院薬剤師1000名程度、薬局薬剤師3000名程度の外来がん治療に精通した当学会認定薬剤師を輩出することを中長期ビジョンとしていること、認定薬剤師取得のための申請資格等について、遠藤一司理事長より説明がなされた。

・ 第5号議案：研究助成の実施

日本臨床腫瘍薬学会では、より良いがん医療の実現のため薬剤師による臨床研究を推奨しているが、今回本学会の趣旨に賛同する個人（山本茂子様）より、がん医療の発展に役立ててほしいとの趣旨で寄付金を得た。これを受け本学会では、寄付金を活用し、研究助成事業を開始する。本事業では、がん医療に関する薬剤師の臨床研究の裾野を広げることを目的とし、これから臨床研究を積極的に実施する若手研究者を対象に研究助成を実施する。募集テーマは、地域

でがん患者をサポートするための研究とし、よりよい薬薬連携の実現や、保険薬局、もしくは病院薬剤部でのがん患者のケア向上に関する研究など、実地医療に直結した研究課題とすること、その他、助成内容、応募資格、今後のスケジュール等について、遠藤一司理事長より説明がなされた。

・第6号議案：学術大会2014の報告

2014年の学術大会は、平成26(2014)年3月21日及び22日に、一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会運営規則第4条第2項に基づき、平成24年7月1日に開催した理事会において、大会長に東邦大学医療センター大橋病院の加藤裕芳氏を選任したので、本総会に報告する。なお、本学会運営規則第4条第3項に基づき、大会長は、自治医科大学附属病院の中澤寛仁氏に実行委員長を委嘱している旨の説明が川尻尚子副理事長より報告がなされた。

本報告を受け、加藤裕芳大会長より「薬剤師が創る虹の架け橋～がん患者に安心して治療を受けてもらうためのファーマシューティカルケアの確立～」をテーマとして幕張メッセにて平成26年3月21日の祝日及び22日の土曜日に開催される。来年の学術大会が成功するよう会員の協力及び支援を要望する旨、説明がなされた。また、中澤寛仁実行委員長より、本学術大会が有意義なものとなるよう東京医療センターの大橋養賢氏、埼玉県立がんセンターの中山季昭氏、東邦大学医療センター大橋病院の野村充俊氏に副実行委員長を委嘱するとともに、がん医療に日ごろ貢献している病院、薬局、大学に勤務する薬剤師の方々に実行委員を委嘱している。今後、会員をはじめ多くの関係者に更なる協力、支援を要望する旨、説明がなされた。

以上をもって本日の議事を終了し、牧野好倫副議長から円滑な審議の協力に対する謝辞があり、閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、副議長及び出席理事がこれに記名押印する。

平成25年3月16日

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時社員総会

議長	山本 弘史	
副議長	牧野 好倫	
理事長	遠藤 一司	
副理事長	加藤 裕芳	
同	川尻 尚子	
理事	青柳 吉博	
同	大谷 俊裕	
同	大塚 昌孝	
同	小川 千晶	
同	軍司 剛宏	
同	小井土啓一	
同	近藤 直樹 (議事録作成者)	
同	櫻井 洋臣	
同	笹津 備尚	
同	鈴木 賢一	
同	縄田 修一	
同	狭間 研至	
同	橋本 浩伸	

同	堀越 建一	
同	松井 礼子	
同	山口健太郎	
同	米村 雅人	
同	和田 敦	

(以下余白) —